

フェリス女学院大学同窓会

被災学生のための

チャリティーコンサート



2012年6月23日(土)

開演 15:00 開場 14:30

音楽学部山手キャンパス **フェリスホール**

〒231-0862 横浜市中区山手町37

自由席 3000円

「フェリス女学院大学学生支援基金」へ全額寄付

出演 /50音順・音楽学部教員ほか

落合敦 (ピアノ) 藏田雅之 (テノール) 黒川浩 (ピアノ) 土屋広次郎 (バリトン)
名倉淑子 (ヴァイオリン) 細川順三 (フルート) 宮本とも子 (オルガン)
アンサンブル・フィオレッティ (同窓生・声楽アンサンブル 指揮・中田幸子)
中村由利子 (同窓生・ピアノ) 菅原奈津子 (同窓生・ピアノ)
声楽アンサンブル履修生 (指揮・西由起子)

曲目 /抜粋

J.S. バッハ コラール幻想曲「来たれ、聖霊、主なる神」BWV651

F. ドップラー 《ハンガリー田園幻想曲》

ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ 第5番」へ長調《春》第1楽章
トスティ《暁は光と影を分け》/中村由利子《50年後を生きる君たちへ》

中田喜直《夏の思い出》《忘れなぐさ》《フェリスの歌》

J.S. バッハ《主よ人の望みの喜びよ》 即興メドレー

ビゼー 歌劇「真珠採り」から《耳に残るのは君の歌声》

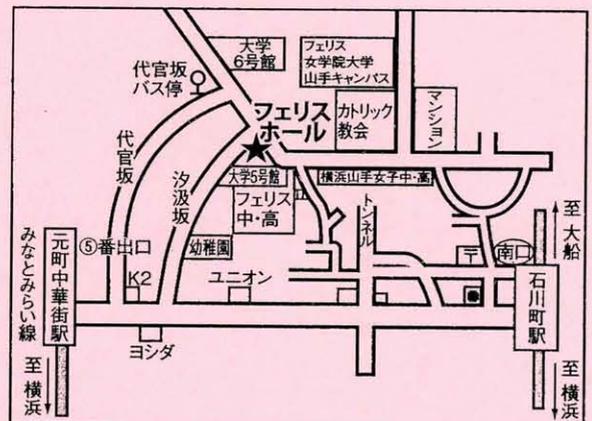
<ホールへのアクセス>

- JR 京浜東北(根岸)線「石川町駅」元町口下車・徒歩 10分
(横浜→石川町約7分/大船→石川町約24分)
- みなとみらい線「元町・中華街駅」下車・5番出口徒歩 10分
(横浜→元町・中華街約8分)

<チケットお申し込み・お問い合わせ>

E-mail: jikkou_f@yahoo.co.jp

- りてら(文学部・国際交流学部)同窓会室
Tel&Fax 045-812-8692(火・木開室 10-16時)
- りべるて(家政科)同窓会室
Tel&Fax 045-662-0750(木開室 11-15時)
- Fグループ(音楽学部)同窓会室
Tel&Fax 045-681-6740(木開室 10-17時)



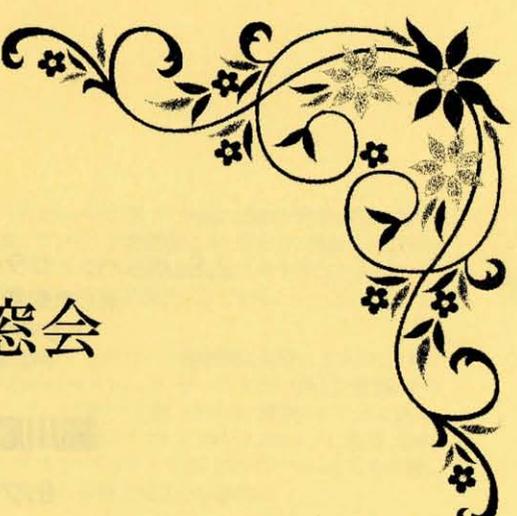
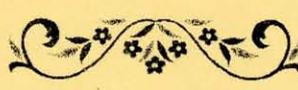
主催:フェリス女学院大学同窓会(りてら・りべるて・Fグループ) 共催:フェリス女学院大学音楽学部

後援:フェリス女学院大学 フェリス音楽教室 協力:フェリス白菊会

協賛:横浜ライオンズクラブ 元町ショッピングストリート 元町クラフトマンシップ・ストリート

山手西部自治会 山手東部自治会 元町自治運営会

赤い靴記念文化事業団 タウンニュース ヤマハミュージック東京 横浜店



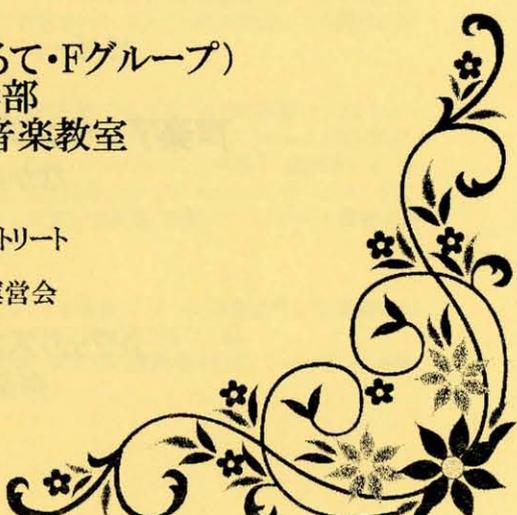
フェリス女学院大学同窓会

被災学生のための

チャリティーコンサート

2012年6月23日(土)

フェリスホール



主催:フェリス女学院大学同窓会(りてら・りべるて・Fグループ)

共催:フェリス女学院大学音楽学部

後援:フェリス女学院大学 フェリス音楽教室

協力:フェリス白菊会

協賛:横浜ライオンズクラブ 元町ショッピングストリート

元町クラフトマンシップ・ストリート

山手西部自治会 山手東部自治会 元町自治運営会

赤い靴記念文化事業団 タウンニュース

ヤマハミュージック東京 横浜店

Program

宮本とも子 オルガン

J.S.バッハ: コラール幻想曲「来たれ、聖霊、主なる神」BWV651
来たれ聖霊、わが主。われらの心を恵もて満たし、燃え立たせたまえ。
み光求める 世界の民は ここに集められ、主のみ栄を歌う。
ハレルヤ、ハレルヤ。(讃美歌 21 第 341 番による)

細川順三 フルート 黒川浩 ピアノ

G.フォーレ: ピエ・イエズ(レクイエムより)

F.ドップラー: ハンガリー田園幻想曲

名倉淑子 ヴァイオリン 黒川浩 ピアノ

ベートーヴェン: ヴァイオリンソナタ第5番へ長調「春」第1楽章
エルガー: 愛の挨拶
クライスラー: 中国の太鼓

土屋広次郎 バリトン 中村由利子 ピアノ・作曲

中村由利子: えがおの日まで

トスティ: 暁は光と影を分け

中村由利子: 50年後を生きる君たちへ

~ *Intermission* ~

アンサンブル・フィオレッティ 声楽アンサンブル 中田幸子 指揮 菅原奈津子 ピアノ

中田喜直作曲作品より

「忘れなくさ」「夏の思い出」「石臼の歌」「北風びゅう」「もう春だ」「フェリス女学院のうた」

落合敦 ピアノ

ショパン: バラード第1番ト短調作品 23

即興演奏(主よ人の望みの喜びを、をはじめとする既成作品をモチーフにしたアレンジや、
当日、心に浮かんだメロディを纏めて1つの作品に仕上げる演奏スタイル)

蔵田雅之 テノール 落合敦 ピアノ

越谷 達之助: 初恋

高田三郎: くちなし

ビゼー: 歌劇《真珠採り》から「耳に残るのは君の歌声」

声楽アンサンブル(大学院履修生) 西由起子 指揮 落合敦 ピアノ

なかにしかかね: 星野富弘詩による女声合唱組曲

『悲しみの意味』より「愛されている」

『今日もひとつ』より「今日もひとつ」

♪フェリス女学院校歌 西由起子 指揮 黒川浩 ピアノ

(声楽アンサンブル学生×アンサンブル・フィオレッティ)

※裏面に歌詞がございます

~ Profile ~

宮本とも子(オルガン)

オルガンとクラヴィコードによる15世紀以来の鍵盤奏法の研究と実践をふまえ、近年オルガンではJ.S.バッハのコラーレに基づく作品の演奏と背景研究に重きを置く。クラヴィコードでは、C.P.E.バッハ、F.J.ハイドン、W.A.モーツァルトの作品演奏に新しい可能性を模索開拓している。主要録音はヨーロッパに現存する屈指の歴史的オルガンOosthizenの記録LP(1980年、オランダ、UNIOX)、フェリスホールで録音したCD「宮本とも子バッハオルガン作品集」(2003年米国ゴシックレコードLOFTレーベル:LRCD1057)、「クラヴィコードの世界〜秘められた音楽領域を探る〜」(浜松市楽器博物館:LMCD-1902)などが発売されている。

名倉淑子(ヴァイオリン)

桐朋学園大学付属高校音楽科、同大学音楽学部を共に首席で卒業。その間、小林健次、故斎藤秀雄氏に師事。ジュリアード音楽院に留学。I.ガリアン、F.ガリエの各氏に師事。同音楽院在学中、東京カルテットを結成。1970年、ミュンヘン国際コンクールおよびアメリカのコールマン、コンクールで共に第1位優勝。その後世界の脚光を浴び世界各地を演奏旅行、数々の国際フェスティバルに出演、ドイツグラモフォンでのレコーディング等で活躍。1974年、東京カルテットを退き、主にアメリカ、ヨーロッパを中心にソロ、室内楽、教育の分野で、活発な活動を行う。1981年、ドイツのバンベルグ交響楽団のゲストコンサートマスターに就任。1988年帰国。ドイツで活躍する音楽家で結成された、日本オクテットのメンバーとして、又水戸室内管弦楽団、サイトウキネンオーケストラのメンバーとしても活躍した。現在、フェリス女学院大学音楽学部特任教授、桐朋学園大学講師。室内楽シリーズ、リサイタル等、演奏、教育の分野で幅広く活躍中。

細川順三(フルート)

東京芸術大学卒業。文化庁海外派遣研修員としてスイス・バーゼル市立音楽院に留学。札幌交響楽団において首席奏者として13年間、NHK交響楽団において23年間、数々のステージで活躍。NHK毎日新聞社共催音楽コンクール(現日本音楽コンクール)第2位、ジュネーブ国際音楽コンクールにおいてブロンズメダルを受賞。ソロ、室内楽、講習会などの分野で幅広く活動している。東京芸術大学講師を経て、現在フェリス女学院大学教授、東京音楽大学非常勤講師。

土屋広次郎(バトン)

東京芸術大学声楽科卒、同大学院修了。ミラノへ留学後「フィガロの結婚」などのオペラ、バッハ「マタイ受難曲」などの宗教曲のほか「第九」などのコンサートリストとして出演。近年では主にコンサート歌手として活動し、トークを織り交ぜながらの「クラシックサロン」、「ボサノヴァギターとのイタリア歌曲」、ポップスアーティストとの共演など声楽の可能性を追求し続けている。CD「大切なこと」は'10年NHKラジオのユアソング(心に残る新しい歌)として連日放送される。フェリス女学院大学音楽学部演奏学科准教授。横浜音楽文化協会会員。平成12年度文化庁インターナショナル研修員。二期会会員。

中村由利子(ピアノ・作曲)

横浜生まれ。フェリス女学院短期大学音楽科ピアノ科卒業後、1987年デビュー。デビューアルバム「風の鏡」はベストセラーを記録。映像とのコラボレーションでも定評があり、宮崎駿監督による三鷹の森ジブリ美術館オリジナル短編アニメーション「星をかった日」や、最近では金子修介監督映画「メサイア」の音楽などを担当。海外では韓国で特に人気が高く、16タイトルのCDリリースと数多くのコンサートを行っている。

東日本大震災直後に作った曲「えがおの日まで」がインターネットで話題を呼び、現在TBS「サンデーモーニング」の「考・震災」コーナーのテーマ曲としても使用されている。オフィシャルホームページ <http://www.yurikopia.com>

アンサンブル・フィオレッティ(女声アンサンブル)

1994年結成の女声アンサンブル。ルネッサンス、バロックから近現代までの作品をレパートリーとする。多くの作詞家、作曲家とのコンサートの他、2000年からは宇野功芳氏の指揮のもと、昭和の名曲、叙情歌の再生を国内各地でのコンサートやCD録音などで行っている。2009年には、おとぎ歌劇「ドンブラコ」のCDで文化庁芸術祭優秀賞を受賞。キング・インターナショナルより発売中。

◆ソプラノ岡島由起子/森康子/杉谷雅子 ◆メソソプラノ大野則子/篠崎幹子/三野田真喜子 ◆アルト杉林良美/平木郁子/伊藤逸子

中田幸子(声楽・合唱指揮者)

フェリス女学院短期大学音楽科及び専攻科卒業。声楽を三宅春恵氏に師事。指揮法を山田一雄氏に学ぶ。「日本女声合唱団」に入団し、団長及び指揮者として活躍。フランス、ナント市での国際声楽コンクールをはじめ、合唱、オペラオーディション等の審査員を数多く務める。又、多くの合唱の指導、声のトレーナーとしても活躍している。現在、神戸市混声合唱団、女声合唱団「みずばしょ」、アンサンブルフリージア、混声合唱「アンサンブル・メイ」等の指導及び指揮者。現在フェリス女学院評議員。神戸市演奏協会評議員。国際ソロプチミスト会員。横浜音楽文化協会会員。作曲家 中田喜直夫人。

菅原奈津子(ピアノ)

フェリス女学院大学音楽学部ピアノ科を経て同大学院音楽研究科修士課程修了。アジア国際音楽コンクール・ピアノ大学生部門で第2位を受賞。また中国・西安にて受賞者記念コンサートに出演する。平成19年度旭川市新人音楽会オーディションで旭川市新人音楽賞を受賞。2011年第3回日本ピアノ歌曲伴奏コンクール入賞。また上川合同庁舎の道民ホールにおいてリサイタルを行う。現在、ソロ及び声楽・合唱の伴奏など、幅広く演奏活動を行う。日浅美和子、米澤緑夏、S・ゼーバス、黒川浩、重松正大の各氏に師事。

落合敦(ピアノ)

桐朋学園大学、ヴェルツブルク音大に学んだ後、幾つかの国際コンクールに入賞。その後ヨーロッパ各地に於いて演奏。フランクフルト放送交響楽団、スペイン国立交響楽団、オーストラリア・フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア交響楽団、チェコ・フィルハーモニー特別管弦楽団、スロヴァキア交響楽団、アテネ交響楽団等、30以上のオーケストラと共演する他、ペーター・シュライアーの伴奏、フリードリヒ・グルダとの2台ピアノ、児玉幸子氏との連弾や室内楽を演奏。国際音楽祭出演や国際コンクールの審査の他、村上ポンタ秀一、宮川泰、松本英彦、世良譲等ジャズ・ミュージシャンとの共演やドラマ、CMの作・編曲も数多く行っている。フェリス女学院大学音楽学部教授。

蔵田雅之(テノール)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。文化庁芸術在外研修員としてミラノで研鑽を積む。1985～90年、ヨーロッパ各地でレハール《ほほえみの国》のタイトルロールなどオペラやコンサートのソリストとして出演多数。国内では、モーツァルトからワーグナーまで40本以上のオペラに出演、テノールの主要な役柄を演唱して高い評価を得てきた。最近では、ブリンデン《ヴェニスに死す》日本初演、新国立劇場《光》などで絶賛された。コンサート・ソリストとしても国内の主要オーケストラにたびたび招かれている。フェリス女学院大学教授、二期会会員。

黒川浩(ピアノ)

1985年東京芸術大学音楽学部附属高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部を首席で卒業。同大学院音楽研究科終了後渡独。1990年旧ドイツテトモルト音楽大学を最優秀の成績で卒業。帰国後日本演奏連盟主催のリサイタルを皮切りに国内はもとよりオーストラリア、ドイツ、アメリカ、オランダ、ベルギー、中国他活発に演奏活動を行い現在に至る。また室内楽の分野ではライナー・キューヒル(ウィーンフィルコンサートマスター)、ロルフ・スドグヴィック、今井信子、堀米ゆず子、堤剛等国内外の一流奏者と共演を重ね、その音楽性と安定した演奏は高い評価を得ている。これまでに田村宏、堀江孝子、E・ハイドシェック、コンラート・ハンゼン、F.W.シュマア各氏に師事。現在フェリス女学院大学音楽学部教授。フェリス音楽教室顧問。北本ピアノコンクール実行委員長。千葉ピアノコンクール審査委員長。著書「はるかなる星をめざして・芸術が僕にくれたもの」(フェリスブックス)、CD「子供の夢」(ソレレコ音楽事務所)

西由起子(指揮)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオにてオペラを学び、'94ドイツに留学。日本音楽コンクール声楽部門2位、奏楽堂日本歌曲コンクール第3位、国際モーツァルトコンクール女声部門第3位、マリアカナルス国際音楽コンクール特別メダル賞など内外で入賞。

'04年、委嘱初演した「星野富弘詩による歌曲集〜二番目に言いたいこと」をCDリリース。二期会、日本演奏連盟、東京室内歌劇場、横浜シティオペラ、横浜音楽文化協会各会員。FM 小田原審議会委員。フェリス女学院大学専任講師。



フェリス女学院校歌

作詞 英康
作曲 伊玖磨

一

清らかに恵の花の咲くところ
緑濃きフェリスの丘に
富士の嶺(ね)は豊かに晴れて
乙女等の希望(のぞみ)は湧けり
覚めむいざ学びの友よ
つゝましく篤く祈りて
人の世に光伝へむ
みことばの

二

新しき生命(いのち)の清水 汲むところ
黎明の鐘はひびきて
打ち拓く歴史の扉
学び舎の歩みは高し
立たむいざ自由の友よ
おのがじしい 知恵をみがきて
ひとすぢに 道をきはめむ
まことなる

三

とこしえの 平和の朝の澄むところ
まなかひの 港都(みなと)の海に
流れ合ふ 八重の潮路も
境なき 一つの理想(おもい)
行かむいざ 深く睦みて
もろとも 深き睦みて
若き日を 御栄光(みさかえ)の わざに捧げむ

ごあいさつ

本日は梅雨の季節の中、フェリス女学院大学同窓会チャリティーコンサートにお越しいただきまして誠に有難うございます。

昨年3月11日の東日本大震災では沢山の尊い命が失われ、今もなお復興に向かって頑張っている方々の姿があります。

大学に被災学生支援のための特別基金が設けられている中、大学同窓会では継続的な支援の形としてこの演奏会を企画いたしました。快くご賛同下さいました先生方や同窓生によって開催の運びとなりましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

本日を迎えるまでには同窓生はもとより、ご協賛くださいました横浜ライオンズクラブ、元町ショッピングストリート、元町クラフトマンシップ・ストリートをはじめ、近隣地域自治会の方々の温かいご支援・ご協力がありました。この会に集うすべての皆様に心から感謝申し上げます。このコンサートを通じて皆様と共に、学生のみならず被災された方々への祈りや、復興への思いを込めて過ごすことが出来たら幸いです。

フェリス女学院大学同窓会 (りてら・りべるて・Fグループ) 会長・役員一同

撮影：南風スタジオ Special Thanks: 浅井様

チケット売上は「フェリス女学院大学学生支援基金」へ全額寄付致します

